

vol.43 シーズンオープニングコンサート

# うららか

2025年4月23日（水）

19：00開演（18：30開場）

## ◆曲目

アルビノーニ

2本のオーボエのための協奏曲 ハ長調 op.7, No.5

クーペラン

コンセール形式の5つの小品(独奏チェロと弦楽編)

ゼレンカ

トリオ・ソナタ 第1番 ヘ長調 ZWV181

モーツァルト

弦楽四重奏曲 第14番ト長調 K. 387「春」

ボッケリーニ

弦楽五重奏曲 ホ長調 op.11, No.5 G.275

## ◆出演

ヴァイオリン 西本 幸弘  
川又 明日香

ヴィオラ 成田 寛

チェロ 三宅 進  
吉岡 知広

コントラバス 助川 龍

オーボエ 西沢 澄博  
岡 北斗

ファゴット 西口 真央

チェンバロ 梅津 樹子



新年度を飾るのは、バロックそして古典の華やかなプログラムです。チェロ、コントラバス、オーボエの奏者が企画するプログラムならではの！3つの楽器がそれぞれ大活躍します。名曲の陰に名手あり…それぞれの作曲家の周りに名手がいたのでしょう。vol.28でもお届けした東欧のバッハ、ゼレンカの作品では、オーボエとファゴット、そしてチェロではなく、コントラバスが大活躍します。オーボエにはプランナー西沢の盟友にして名手、岡北斗さんをお迎えして、アルビノーニの2本のオーボエのための協奏曲もお届けします！また、よく名曲100選にも含まれる「ボッケリーニのメヌエット」を含む弦楽五重奏曲は、ヴァイオリン2本、ヴィオラ、チェロ2本という編成で、それぞれが爽やかに協奏します。モーツァルトの弦楽四重奏曲「ハイドン・セット」に含まれる名曲「春」も季節にぴったりな作品です。曲名を見ただけでは、どんな曲かは、分からない…だけれども、ひとたび聴けば、きっと気に入って頂ける。「やっぱり、PaToNa」と仰って頂けるよう、シーズンオープニングコンサートから盛り上げて参ります。仙台の音楽界の主軸となる仙台フィルメンバー、そして隣県、山形からもお二人をお迎えし、東北の春は遅し、されど華やかで麗らかにお届けします。